

近畿農政局のご紹介

～国家公務員一般職(農業土木・調査計画系)の仕事～

※R5.3.1より、採用区分の名称が、
これまでの「農村振興技術系」から「農業土木・調査計画系」に変更となりました。



かんがい排水事業



防災事業



管理事業



農業自体が
魅力的でないといけない

近畿農政局の魅力

- ① 最先端技術
- ② スキルアップ
- ③ 世界規模の仕事

3つ目は 世界規模の仕事

令和6年3月

農林水産省

近畿農政局 農村振興部 設計課

近畿農政局 採用
ホームページ



近畿農政局 農村振興部
リクルートビデオ



— 資料目次 —

1. 農林水産省の組織と
農業土木・調査計画系について ……P1
2. 試験・採用区分と一般職キャリアパス ……P9
3. 近畿農政局の概要と一般職の業務 ……P14
4. 採用プロセス ……P32
5. 研修・福利厚生とワークライフバランス ……P34

1. 農林水産省の組織と農業土木・調査計画系について

- 農林水産省のビジョン・ステートメントと組織
- 農業土木・調査計画系のミッション
- 農村振興技術系職員が携わる政策内容

農林水産省ビジョン・ステートメント

いのち わたしたち農林水産省は、
生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を
未来の子どもたちに継承していくことを使命として、
常に国民の期待を正面から受けとめ
時代の変化を見通して政策を提案し、
その実現に向けて全力で行動します。

食料



農業



農村



農林水産省の組織

本省

(約5千人)

大臣官房

新事業・食品産業部

統計部

検査・監察部

消費・安全局

輸出・国際局

農産局

畜産局

経営局

農村振興局

農村政策部

整備部

農林水産技術会議事務局

林野庁

水産庁



農林水産省(本省)



有識者を交えた政策検討会議

地方出先機関等

(約1万5千人)

地方農政局

国営事業所 等

森林管理局

漁業調整事務所

植物防疫所

動物検疫所

動物医薬品検査所

農林水産政策研究所



農業農村整備事業(国営事業)の実施



国営造成施設の調査・管理等の実施

農業土木・調査計画系のミッション

- ◆ 先人から受け継いだ農地や水（農業用水）を守り、さらに発展させる**農業・農村の基盤整備**と、



地域の創意工夫ある取組を後押しする**地域活性化**の政策により、



魅力ある農業・農村を次世代に引き継ぐこと！

- ◆ さらには、蓄積された**基盤整備の技術やノウハウ**を用いて、国内のみならず**世界**の食料や農業・農村の課題の解決に貢献すること！



日本の農業・農村の基盤をつくる農業農村整備

スマート農業の実現、強い農業の礎を築く。

○生産コストの削減と収益力の強化のため、自動走行農機やICT水管理等のスマート農業の実装を可能とする水田の大区画化、水田の汎用化、畑地かんがい等の基盤整備を推進。



全国

- 大区画水田の割合 10.6%
(50 a 以上区画)
- 排水良好ではない水田 49万ha
(30 a 程度以上区画のうち)
- 畑地かんがい整備済の割合 24.2%

「農業農村振興整備部会
令和元年度第4回 資料3」より

インフラを保全・管理し、災害から農業・農村を守る。

○ 頻発化・激甚化する災害に対応し、農業・農村を強靱化するため、老朽化した農業水利施設の改修・耐震対策、排水施設の整備、既存ダムの洪水調節機能強化、田んぼダムなどによる流域治水を推進しています。



頭首工の耐震化(堰柱の拡幅)

洪水から農村地域を守る調整池や排水路

農業用ダムからの事前放流 6

農村地域の活性化のための様々な取組

- 農村地域では、少子高齢化・人口減少が進行する一方、「田園回帰」など農村の持つ価値や魅力が国内外で再評価されており、農村振興局では、地域活性化の取組を後押しする様々な政策を立案・実施しています。

しごと

- 農村発イノベーション
(6次産業化のほか、地域資源と他分野を組合せて新しい事業を創出する取組)
 - ・農泊の推進
 - ・ジビエ利用の拡大
 - ・農福連携の推進



くらし

- 地域コミュニティ機能の維持・強化
 - ・多面的機能支払交付金、中山間地等直接支払交付金
 - ・農村地域づくり事業体※の育成
- 生活インフラの確保 (情報通信環境等)
- 鳥獣被害対策



活力

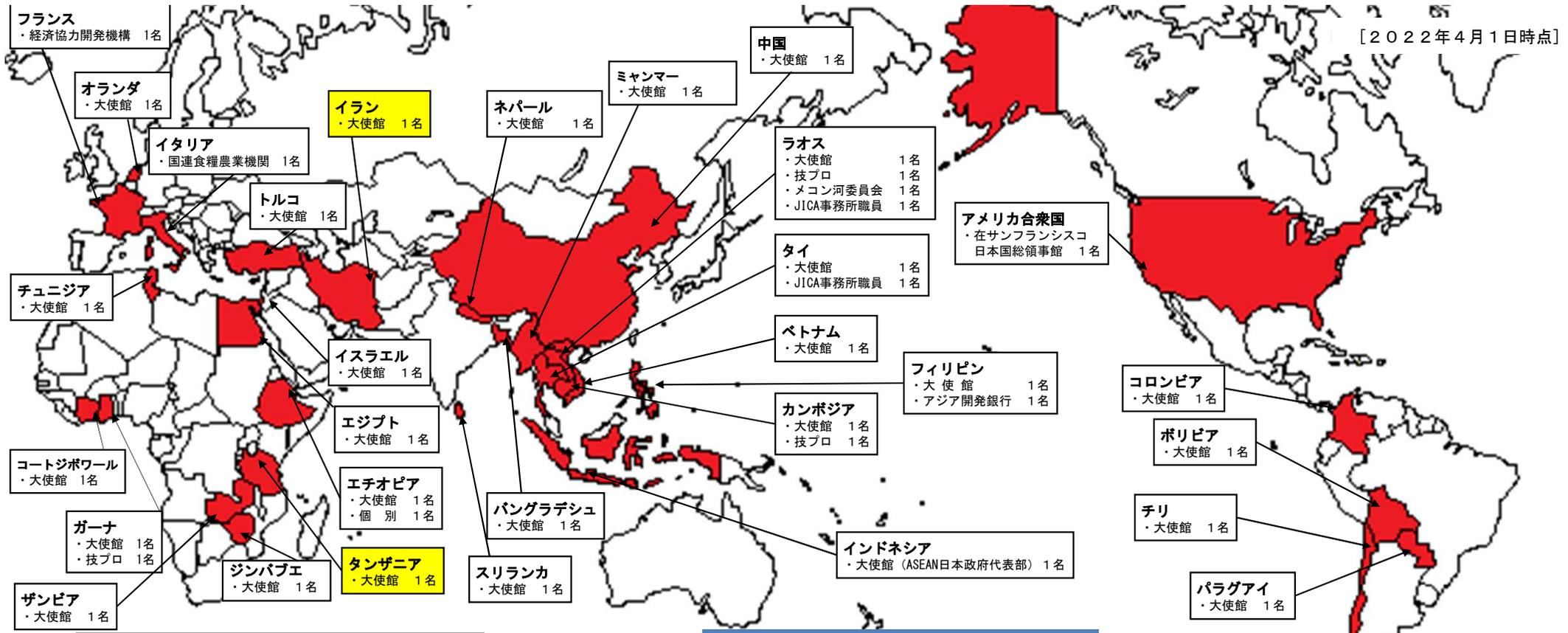
- 地域を支える体制、人材づくり
 - ・農村プロデューサー養成講座
- 農村の魅力の発信、国民の理解の促進
 - ・ディスカバー農山漁村の宝 (優良事例表彰)
 - ・世界農業遺産・日本農業遺産、世界かんがい施設遺産の認定
 - ・棚田地域の振興と魅力の発信 (優良事例集、棚田カード等)



農業農村開発分野における国際協力

○ 農村振興局では、アジアの国々との技術交流の実施、国際的な枠組み (ICID, INWEPF など) と連携した灌漑技術の展開、政府開発援助 (ODA) による事業の実施等により国際社会に貢献。

○ 近畿農政局 (大卒一般職) の農村振興技術系職員では、イラン大使館及びタンザニア大使館にて外交官で赴任中。



在外公館 (書記官)

○ 外交官としての業務

○ ODA (政府開発援助) の企画・実施管理、農産物貿易交渉の調整等



JICA 専門家

○ 現地政府機関等の政策アドバイザー

○ 技術協力プロジェクトの専門家 (灌漑、水管理等)



国際機関

○ 各国際機関の職員として、飢餓・水不足等の世界的な問題の解決に向けた支援業務

2. 試験・採用区分と一般職キャリアパス

- 試験・採用区分と配属先、業務の特徴
- 総合職と一般職の役割
- キャリアパス(一般職) 農業土木・調査計画系

試験区分・採用区分等

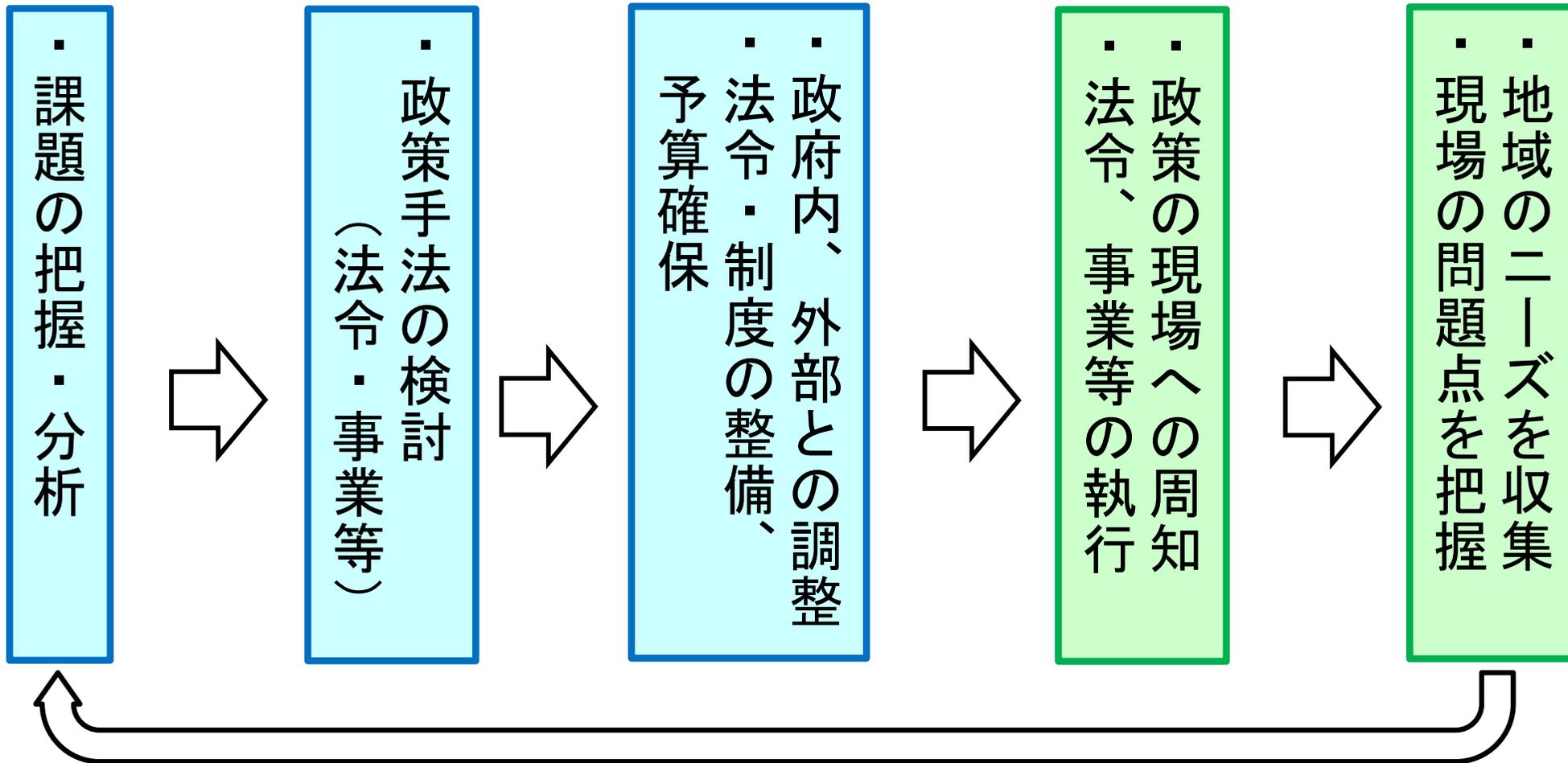
試験区分・採用区分	配属先や業務の特徴	
<p>【総合職】 農業工学系</p> <p>試験区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業農村工学 (農業機械を除く) ・ 工学 (うち電気、電子、通信、機械) ・ デジタル 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本省で全国的視点に立った施策の企画・立案、農政局で各地域の実情を踏まえた調整や農業農村整備事業の実施。 ○ 他省庁や地方公共団体、海外での業務 (大使館書記官やJICA専門家など) もある。 	
<p>【一般職】 農業土木・調査計画系</p> <p>試験区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業農村工学 ・ 機械 ・ デジタル・電気・電子 ・ 土木 ・ 農学、物理、化学 (調査計画のみ) 	<p>農業土木</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業農村整備事業の実施等農村の地域づくりに関する業務。 ○ 主な配属先は、各農政局の本局、国営事業所等。(本省や海外等での仕事の機会もある)。
	<p>調査計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業農村整備事業の計画づくりや農村の景観・環境・文化等の地域資源を活用した地域活性化の取組等に関する業務。 ○ 主な配属先は、各農政局の本局、土地改良調査管理事務所、本省等。

※R5.3.1より、一般職採用区分の名称が、これまでの「農村振興技術系」から「農業土木・調査計画系」に変更となりました。

政策の企画・立案から実行までの流れ

政策の企画立案

政策の実行



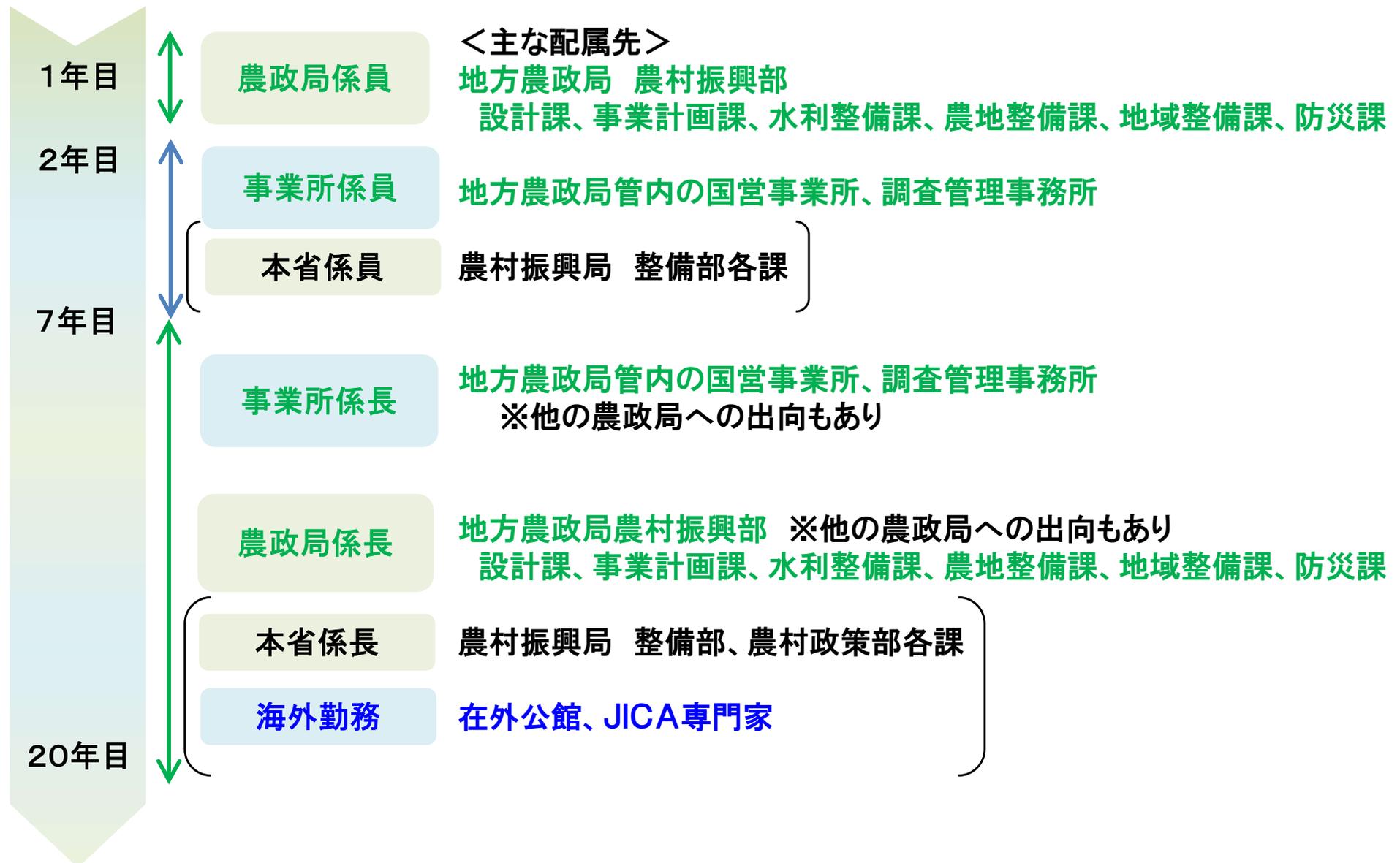
主に本省

主に地方農政局等

総合職：本省で採用。
本省勤務が多い。

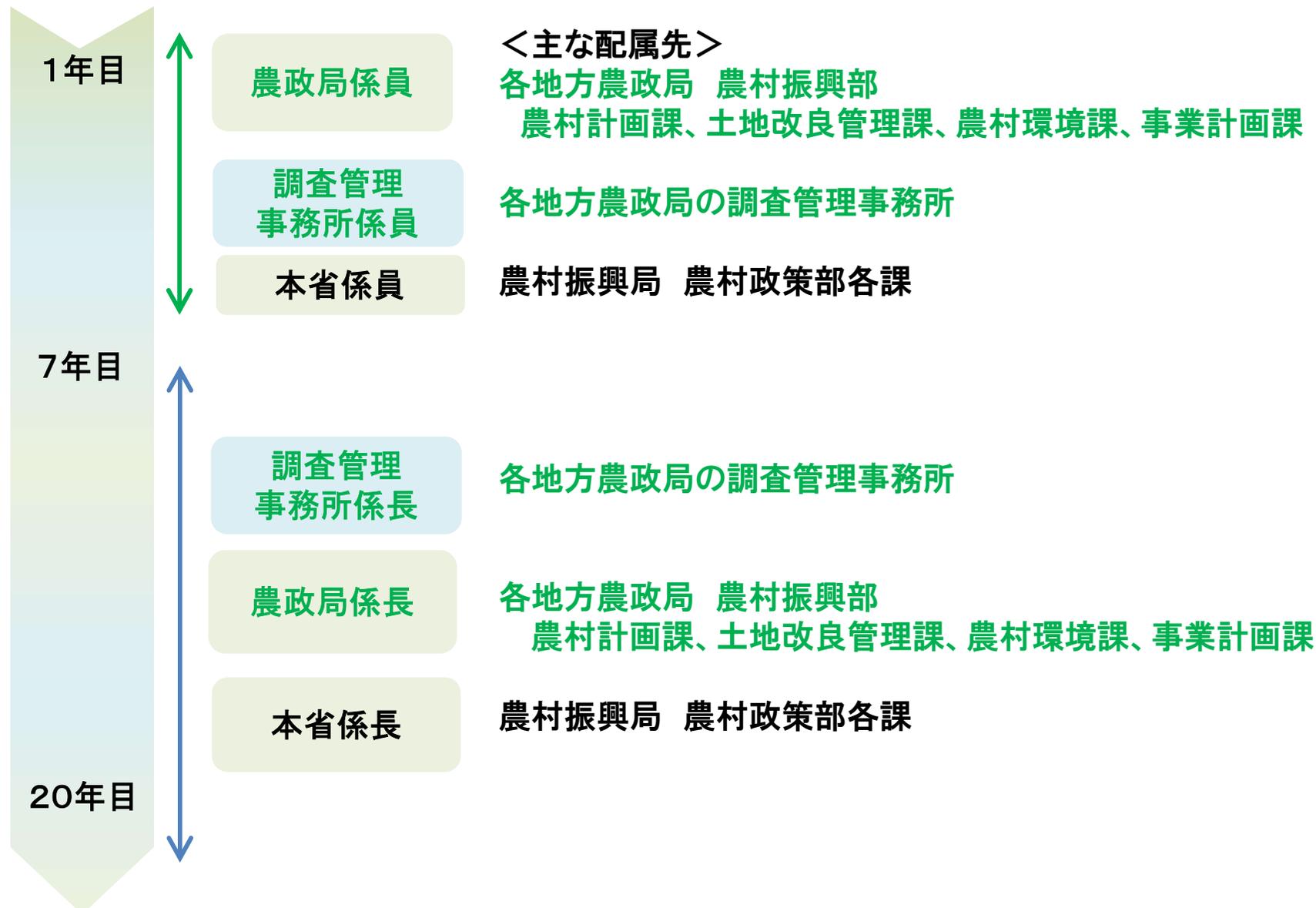
一般職：各農政局で採用。
農政局勤務が多い。

一般職（農業土木系）のキャリアパスの例



その後は、国営事業所の専門官、課長、地方農政局の課長補佐、農林水産省本省や他省庁の課長補佐、地方農政局の管理職や国営事業所の幹部といったキャリアを経験。

一般職（調査計画系）のキャリアパスの例



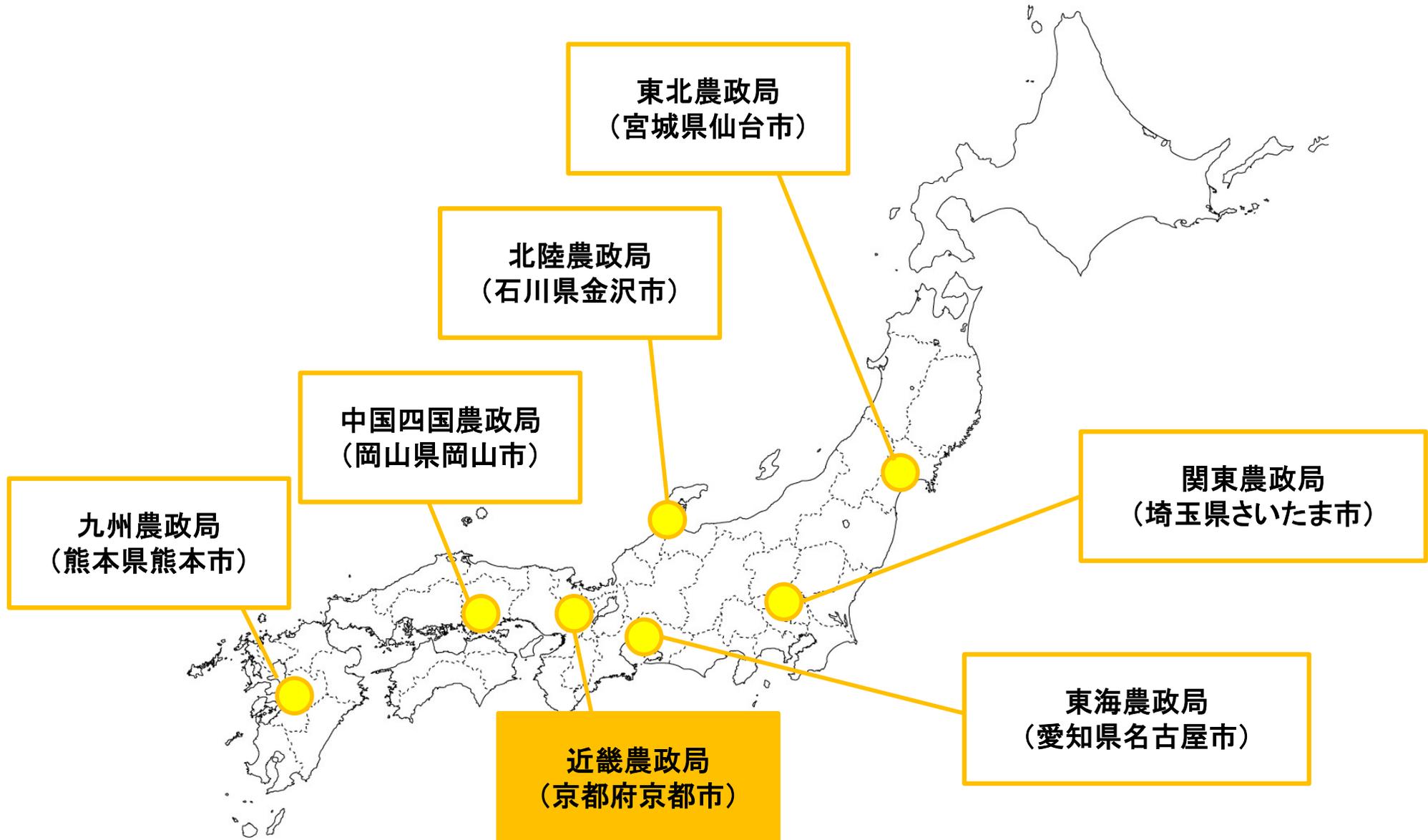
その後は、調査管理事務所の専門官、課長、地方農政局の課長補佐、農林水産省本省の課長補佐、地方農政局の管理職や調査管理事務所の幹部といったキャリアを経験。

3. 近畿農政局の概要と一般職の業務

- 近畿農政局の組織
- 近畿農政局管内の国営事業の実施状況
- 一般職(農業土木・調査計画系)の業務

地方農政局の組織と近畿農政局の位置

- 地方農政局は、全国に7箇所あり、地域の実情に合わせて施策を実行。
- 近畿局は、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県及び和歌山県の2府4県を管轄。

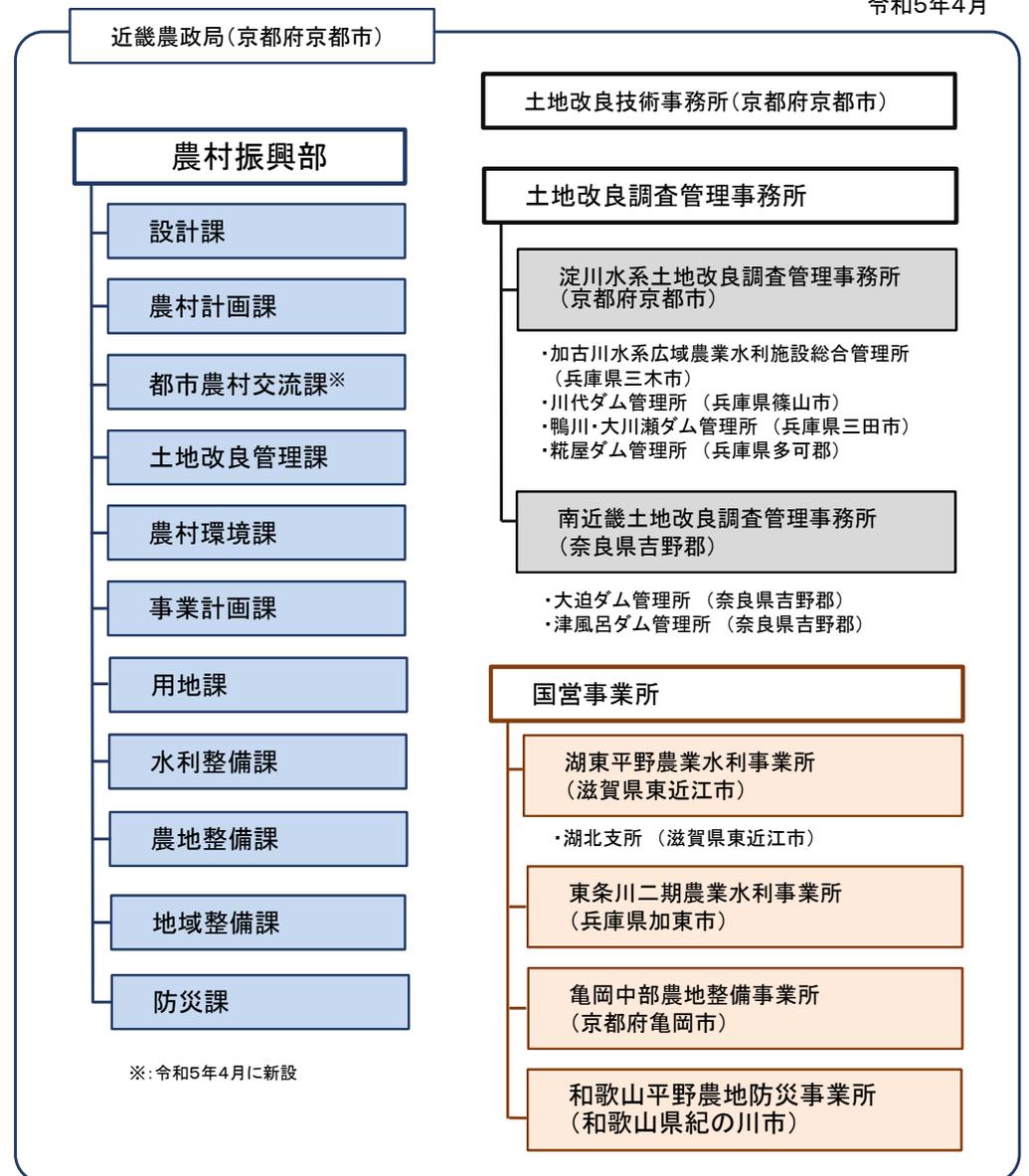


近畿農政局 農村振興部関係の組織



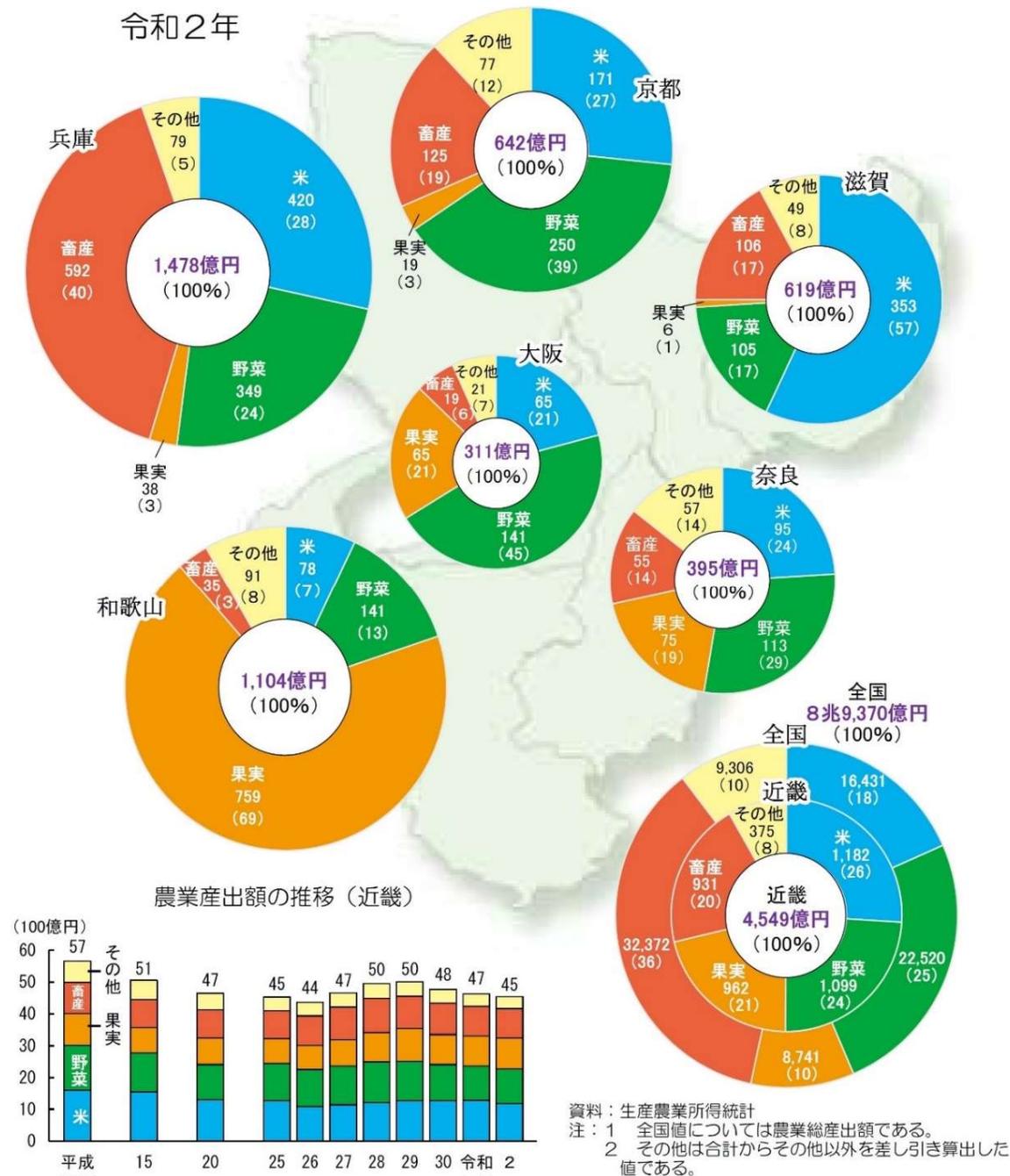
農村振興部では、農業農村整備事業(国営土地改良事業等)の実施、土地・水などの有効利用と農業農村の整備のための調査・計画や、活力あるむらづくりの推進などを行っています。

令和5年4月



(参考) 近畿農政局管内の農業の概況

- 近畿の農業は、農地面積、農業産出額で全国の約5%、農家数では約10%のシェア。地域の特色を活かし、各府県で多様な農業を展開。
- 近畿の農業産出額は4,549億円で、兵庫県が1,478億円で最も多く、次いで和歌山県が1,104億円。
- 農業構造は小規模で兼業農家が多い一方、滋賀県、兵庫県では水田地帯を中心に集落営農を展開。
- 水田農業では、滋賀県で麦・大豆作のブロックローテーションによる集団転作、兵庫県では酒米の生産を展開。
- 野菜では、京野菜、大和野菜などの伝統野菜の生産が盛ん。
- 畜産では、素牛となる但馬牛、ブランド牛である神戸ビーフ、近江牛を生産。
- 果樹は、和歌山県、奈良県での生産が盛ん。和歌山県は、みかん、うめ、かき等の産出額が全国1位。奈良県は、かきの産出額が全国2位。



近畿農政局管内の国営事業（務）所

令和5年4月現在

亀岡中部農地整備事業所



農地の大区画化を行い、担い手の農地集積による生産性の向上等を図っています

東条川二期農業水利事業所



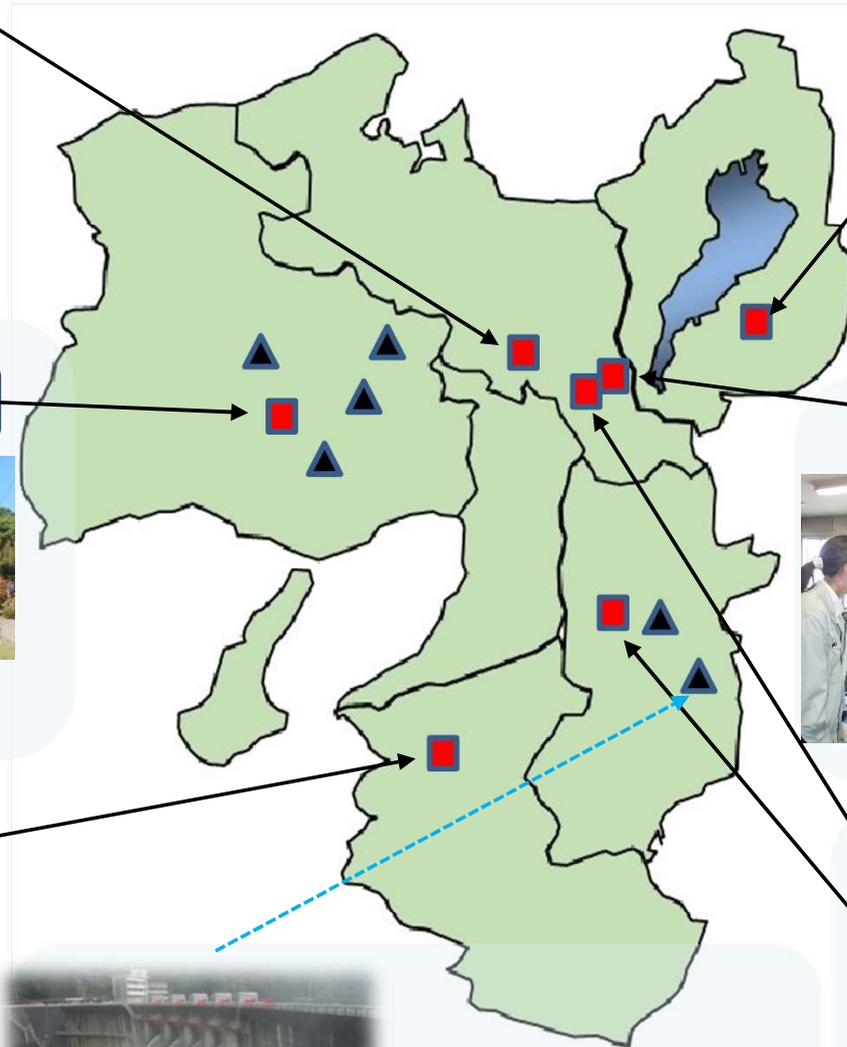
老朽化が進行している施設の改修等と一体的に耐震化のための整備を行っています。

和歌山平野農地防災事業所



排水機、農業用排水施設等を整備し、施設機能の回復を図っています。

<■は国営事業（務）所、▲はダム管理所>



湖東平野農業水利事業所



老朽化が進行している用水路の改修等や、ダムの整備（貯水池内掘削）を行っています

土地改良技術事務所



国営事業などへの技術支援等を行っています。

淀川水系土地改良調査管理事務所

南近畿土地改良調査管理事務所



国営土地改良事業によって造成された施設の調査計画を始め、施設管理、保全対策等を行っています。

管内にある6つのダム管理所では、国営土地改良事業で建設されたダムの水管理等を行っています。（左の写真は大迫ダム（奈良県川上村）

農業土木系の業務

技術系職員として、大学や高校等で学んだ知識を活かし、幅広い農村振興の業務に携わります。

【国営事業所勤務】 国営事業の調査計画や工事の発注、現場での施工管理などに携わります。

【農政局勤務】 国営事業の予算・事業管理、都道府県営事業の補助金交付などの業務を行います。

農政局の出先機関（国営事業所・調査管理事務所等）

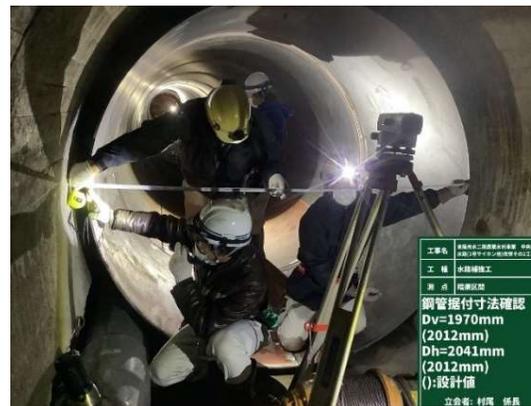
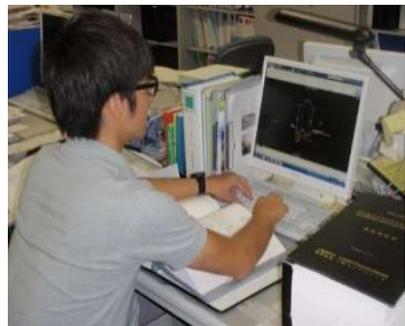
事業計画の策定（主に調査管理事務所）では、施設の機能診断や、県、市町村との調整、農家への説明などを行います



担当する工事では現地で施工管理に立ち会います



国営事業所では、工事などの発注業務（設計積算等）や地元説明などの対応を行います



農政局（本局）

本省や府県との窓口となるとともに、国営事業所の事業管理や府県との補助事業調整等を行います。



事業所とのWEB会議状況

近畿の農業を守る国営事業～①国営かんがい排水～

国営かんがい排水事業とは、ダム・頭首工・揚水機場・用排水路の新設・改修など、農業生産基盤となる農業水利施設の整備し、農業用水の安定供給・水利用の合理化・農地排水の改良を図る事業です。

ことうへいや 湖東平野地区（滋賀県）

ダム貯水池の掘削による貯水容量の増加、調整池の新設、老朽化した幹線水路の改修や水管理システムの整備などを現在実施中です。【湖東平野農業水利事業所】



永源寺ダム貯水池内掘削工事の状況 *R3完了



幹線水路（管水路）改修（新管に更新）



愛知1調整池（造成状況）*R5完成



幹線水路（開水路）補修（壁面の表面被覆）

ひのがわ 日野川地区（滋賀県）

※令和5年3月完了

施設の長寿命化と維持管理費軽減のため、琵琶湖からの逆水利用の揚水機など機械・電気施設の更新を実施しました。

【淀川水系調査管理事務所】



第1段揚水機（ポンプ）の更新

ごじょうよしの 五条吉野地区（奈良県）

老朽化等による突発事故など不測の事態に対応して、ダム水管理施設や揚水機場の更新を現在実施中です。

【南近畿土地改良調査管理事務所】



揚水機（ポンプ）の分解・整備

こほく 湖北地区（滋賀県）

老朽化等による漏水事故など不測の事態に対応して、管水路や頭首工設備の更新を現在実施中です。

【湖東平野農業水利事業所】



管水路の漏水状況

近畿の農業を守る国営事業～①国営かんがい排水～

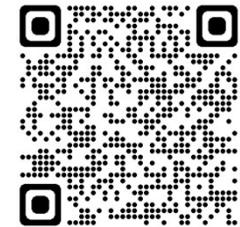
とうばんようすいいき 東播用水二期地区（兵庫県）

老朽化した導水路やダム満水面保護施設の改修を行うとともに、地域の水利用の変化に伴い、複数のダム掛りの用水配分を再編するため、揚水機場や調整池の新設を行いました。

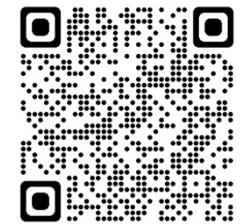
また、再生可能エネルギーを活用した施設の維持管理のため、2つダムに小水力発電施設を設置しました。

※本地区は令和4年3月に事業完了。水利施設の更新等により、安定的に地域に水のめぐみをもたらしています。

水のめぐみ～東播用水～
【東播用水二期地区_事業説明編】



未来へつなぐ淡山疏水
【東播用水二期地区_疏水の歴史編】



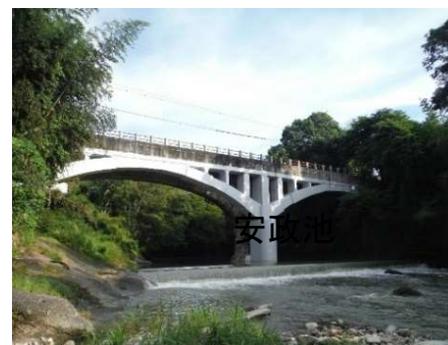
東播用水がもたらす3つの水のめぐみ
【東播用水二期地区_東播磨の農産物編】



北神戸調整池の新設
(PC円筒式タンク 内径32m、有効水深11m)



シールド工法による管水路の新設
(内径1.5m、距離2.5km)



御坂サイフォン（水路橋）の耐震化
(※世界かんがい施設遺産)



呑吐ダム小水力発電施設
(プロペラ水車、最大発電量275KW)



大川瀬導水路の補強対策
(内径2m、パルテム工法)



中央幹線水路の補強対策
(内径2m、鋼管巻き込み工法)

近畿の農業を守る国営事業～①国営かんがい排水～

とうじょうがわにき
東条川二期地区（兵庫県）

本地区は令和3年度より事業着手したばかりであり、令和14年度まで実施予定です。【東条川二期農業水利事業所】

用水路は老朽化が著しく、漏水が発生するとともに、築造年度の古いダムやため池等の一部は、大規模地震により損壊する可能性があります。そのため、幹線水路等の改修と併せて、ダムやため池の耐震対策を一体的に実施しています。

水路橋の耐震対策

橋脚の補強、上部水路橋の落橋防止施設を設置する耐震対策工事を実施



橋脚補強・落橋防止対策 完了イメージ



ダムやため池の耐震対策

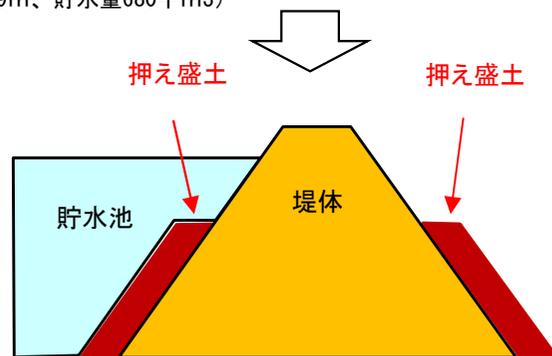
ダムやため池の堤体への押さえ盛土の施工により耐震対策を実施



安政池（中心コア型フィルダム）
（堤高29m、貯水量680千m³）



権現池（ため池）



耐震対策のイメージ

用水路の老朽化対策

開水路のひび割れ補修の実施状況



開水路の表面被覆の実施状況



近畿の農業を守る国営事業～②国営総合農地防災～

国営総合農地防災事業とは、地震による農業水利施設の被災リスクを軽減するための耐震化対策や、気候変動や流域開発に伴う農地の湛水被害を軽減するため、排水路や排水機場の整備を行う事業です。

わかやまへいや 和歌山平野地区（和歌山県）

紀の川流域の湛水被害軽減のため、排水機場や洪水調整池の施設のほか、流下能力が不足している排水路の拡幅やバイパス水路の整備などを現在実施中です。【和歌山平野農地防災事業所】

排水機場の整備



改修後の米田排水機場の外観

洪水調整池の整備

（既存ため池の改修）



森ノ池、上ノ池
（洪水調整能力：0.5m³/s）

放水路の整備



千旦放水路
（流下能力：11.7m³/s）

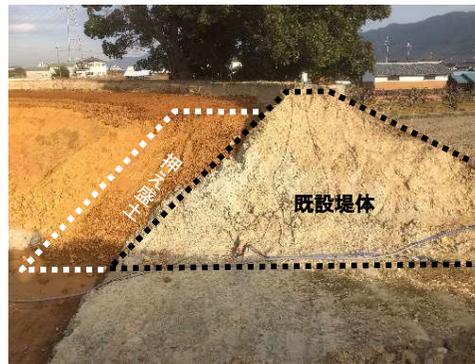
排水バイパスの新設



七瀬排水路分流工
（流下能力：4.5m³/s）



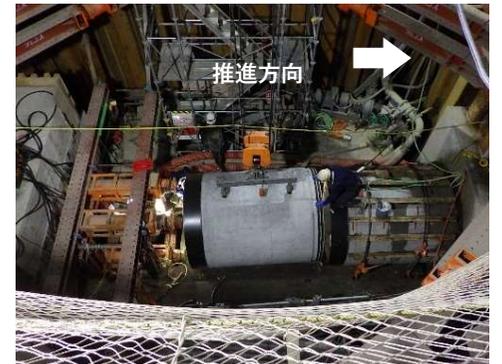
米田排水機場内のポンプ
（改修前：3.7m³/s→改修後：4.5m³/s）



森ノ池堤体改修断面



ケーソン圧入による到達立坑の施工
（内径：7m、深さ：19m）



波分山崎排水路の推進工
（推進管：内径1,650mm）

近畿の農業を守る国営事業～③国営農地再編整備～

国営農地再編整備事業とは、広域的な農地の大区画化や排水改良を行い、担い手への農地集積を加速化するとともに、耕作放棄地の解消・未然防止を図りつつ、産地収益力等の向上のための生産コスト低減や高収益作物への転換等の地域の取組を促進する事業です。

かめおかちゅうぶ

亀岡中部地区（京都府）

京都府亀岡市の約400ヘクタールの農地を対象に、1ヘクタールなど大区画化を行う区画整理工事と併せて、ほ場と集落をつなぐ幹線道路や用水路・排水路の整備などを現在実施中です。【**亀岡中部農地整備事業所**】

ほ場の大区画化



大区画化整備田での営農



整備田での田植え作業状況



整備田を活用した玉ねぎの機械化栽培

環境配慮の地域活動



地域住民や農家も参加した生き物保護活動



保護した生き物（希少種のカエル等）を移動

近畿の農業を守る国営事業～④直轄管理～

- ・ 国営事業で建設したダム・頭首工等については、通常は土地改良区・地方公共団体が管理しますが、高度な公共性を有し、管理に特別の技術的配慮が必要な場合は、国自らが管理します。
- ・ 全国で6地区のみの直轄管理地区のうち、近畿局管内では2地区を実施しています。

とつかわ きのかわ 十津川・紀の川地区（奈良・和歌山県）

奈良県・和歌山の両県に農業用水等を供給するための大迫ダム、津風呂ダム、下淵頭首工を直轄管理しています。【南近畿調査管理事務所】



大迫ダム
(S48完成、アーチダム)



津風呂ダム
(S36完成、重力式コンクリートダム)



大迫ダムでの洪水管理（放流）



下淵頭首工の操作・監視室

かこがわすいけい 加古川水系地区（兵庫県）

神戸市や東播磨地域等の農業用水及び水道用水を供給するためのダム（吞吐ダム・大川瀬ダム・鴨川ダム・川代ダム・糞屋ダム）や、頭首工、揚水機場などの基幹的施設を直轄管理しています。

【加古川水系広域農業水利施設総合管理所】



吞吐ダム
(H4完成、重力式コンクリートダム)



総合管理所の操作・監視室



大川瀬ダム
(H4完成、重力式コンクリートダム)



川代ダム
(H3完成、ゲート式ダム)

調査計画系の業務

(1) 農業生産性の向上に向けた土地改良事業の計画づくり

地域の農業や環境の状況を調査し、農業者や市町村など地域の皆さんと一緒に、農業生産の向上や農村環境を保全するための計画を作ります。また、その計画により事業を実施した場合の経済効果の算定などを行います。

《 事業の流れ 》

調査・計画
(3~6年)

着工

事業の実施
(10~15年)

完了

営農の展開

《 農村振興技術系(調査計画)職員の仕事 》

- 地域の農業や環境などの状況の調査
(作付状況調査、用水量調査、土壌調査、環境調査等)
 - 事業実施区域の土地の面積や権利関係の調査
 - 地域農業者、行政機関等との農業生産の向上や環境を保全するための計画づくり
 - 事業を実施した場合の経済効果の算定
-
- 営農展開のための取り組み支援
-
- 事業実施後の評価(事後評価)



水田用水量調査



環境調査



農業者等との計画づくり



営農転換の支援

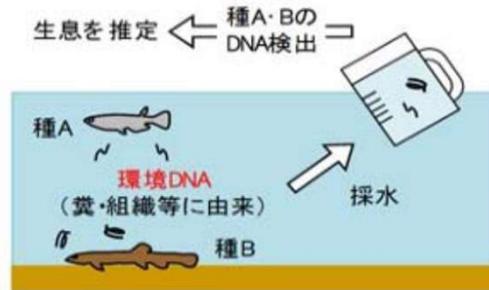
(2) 農村地域における環境の保全

■ 農村地域の環境保全、気候変動等に関する調査

土地改良事業は、環境との調和に配慮することを原則としています。

このため、調査計画時点の環境調査のほか、事業による環境保全対策や環境影響評価の実施に向け、生物生息状況の効率的な調査手法の検討、生息環境を整備するための手引きの作成、気候変動の影響予測や対応策の検討など、**農村地域の環境保全のための各種調査**を行います。

【環境調査の例】



- ・ 環境DNAによる魚類等の生息状況推定手法の検討
- 効率的な調査手法の検討



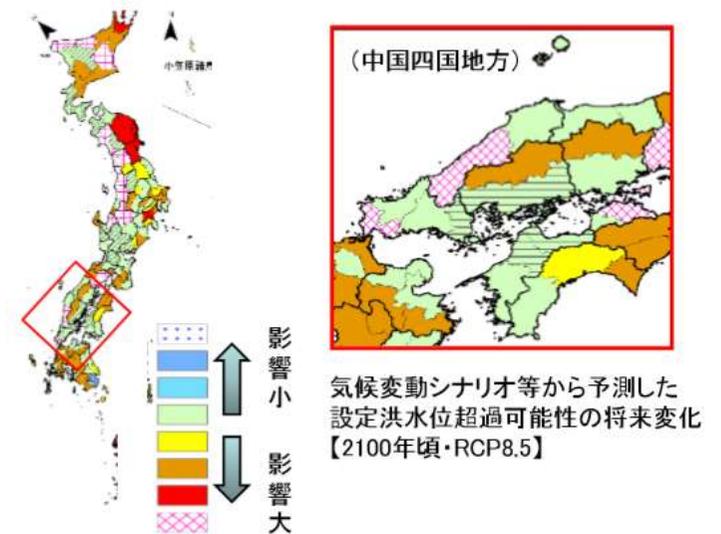
- ・ 地域住民との生きもの調査
- 生物生息状況調査



- ・ 外来種対策パンフレットの作成



- ・ 水田魚道設置等による水域ネットワークの保全対策の検討
- 環境保全のための手引き等の作成



- ・ 降水の変化がため池へ及ぼす影響を予測
- 気候変動による影響の予測検討

(3) 都市と農村の土地利用調整

■ 土地利用の調整（農業的土地利用と都市的土地利用の区域分け）

農地は、食料の供給をはじめ国土の保全等といった重要な役割を果たす限りある資源であり、その確保と有効利用に確実に取り組んでいく必要があります。

一方、国土が狭小な我が国においては、宅地や工場等の農業生産以外の土地利用の需要（都市的土地利用）にも適切に対応する必要があります。農業的土地利用と都市的土地利用の区域分けが重要です。

このため、農地を守るという基本的な考え方に立って、区域分けに係る他省庁（国土交通省等）や、都道府県・市町村の農地担当部局と都市計画担当部局との調整・指導を行います。

■ 優良農地の確保

農業的土地利用に区域分けした土地（農用地区域）を対象に、生産性向上のため農業用排水路の整備や区画の拡大をはじめとした農業投資（土地改良事業等）を行います。

事業が行われた優良農地は、その確保と有効利用により、事業の効果を発揮させることが大切です。

一度、宅地や工場に転用（農地転用）されると、農業の生産基盤は失われ、基本的に農地に戻ることはありません。

農村振興局では、農振法（農業振興地域の整備に関する法律）等により、都市的開発に対して規制をかけ、優良農地の確保に努めています。

土地利用の区域分けのイメージ



(4) 地域資源を活用した農山漁村の活性化

■ 地域資源を活用した農山漁村の活性化

農村には、古民家、郷土料理、伝統的農業生産技術、農村景観や農村文化など、農村の活性化に繋がるような地域の資源が数多くあります。

こうした地域資源を活用した、農泊や農業遺産、ジビエの利用拡大等の支援を行います。

● 農泊

農山漁村地域ならではの伝統的な生活体験と地域の人々との交流を楽しみ、農家や古民家等での宿泊によってその土地の魅力を味わってもらう「農泊」の取組を進め、都市と農山漁村との交流や増大するインバウンド需要の呼び込みを促進することで農山漁村の所得向上と地域の活性化を図ります。

● 農業遺産

伝統的農業生産技術など独自性のある農林水産業と、棚田などの農村景観、生物多様性や農村文化などが相互に関連して一体となった、将来に受け継がれるべき重要な農林水産業システムを認定する「農業遺産制度」の取組を進めます。



(5) 鳥獣対策

■ 鳥獣対策

営農意欲の減退、耕作放棄・離農の増加など農村地域の存亡にもつながる鳥獣被害。

これを無くし、農村地域の活性化を図るため、鳥獣防護柵の設置や捕獲の促進等の鳥獣被害防止対策を進めるとともに、捕獲した鳥獣の有効活用を図るため、処理加工施設の整備や民間企業と連携したジビエフェアなどの普及プロモーション等、ジビエ利用拡大に向けた支援を行います。

鳥獣被害の防止とジビエ利用の拡大



【ジビエポータルサイト】



ジビエト



ジビエの魅力、イベント等の情報はここから



鳥獣被害対策コーナー

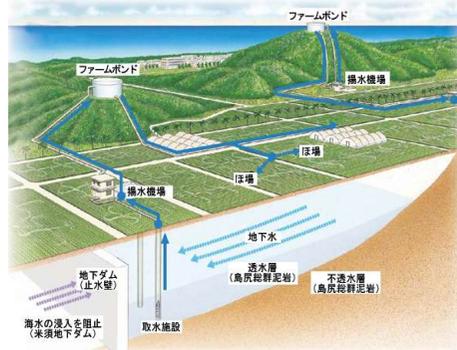


ジビエ利用拡大コーナー

(6) 地盤環境や地域資源の調査

1. 農業を支える農業生産基盤の整備

農業用水が十分確保されていない地域で安定して水源を確保するために整備する、ダム・地下ダム等の建設、改修にあたって、**地盤環境に関する技術的課題の解決**を主導。



2. 農業水利施設の持続的な保全管理

ダムなど農業水利施設のライフサイクルコストを低減するため、施設に関する**地盤環境情報の収集と分析、活用**を主導し、適切な保全・管理の推進を支援。



3. 農村地域の防災・減災対策

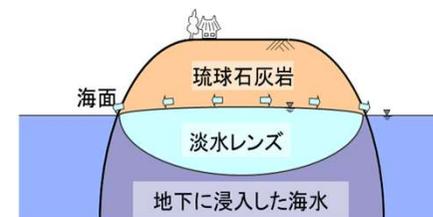
ダム等の**農業水利施設の地震動耐震性能照査**に参画し、施設の耐震化対策を支援。農村を**地すべり災害**から守るため、地すべり等防止法に基づく防止区域の指定や対策工事等の管理を支援。



4. 地域資源を活用した農村振興

独特の自然条件など、地域固有の資源に着目した農山漁村振興の取組を企画・立案・実行。**地下水や地すべりに係る調査の実施等**。

(地下断面模式図)



不透水基盤が分布しない島嶼地域の水源開発 (淡水レンズ開発)

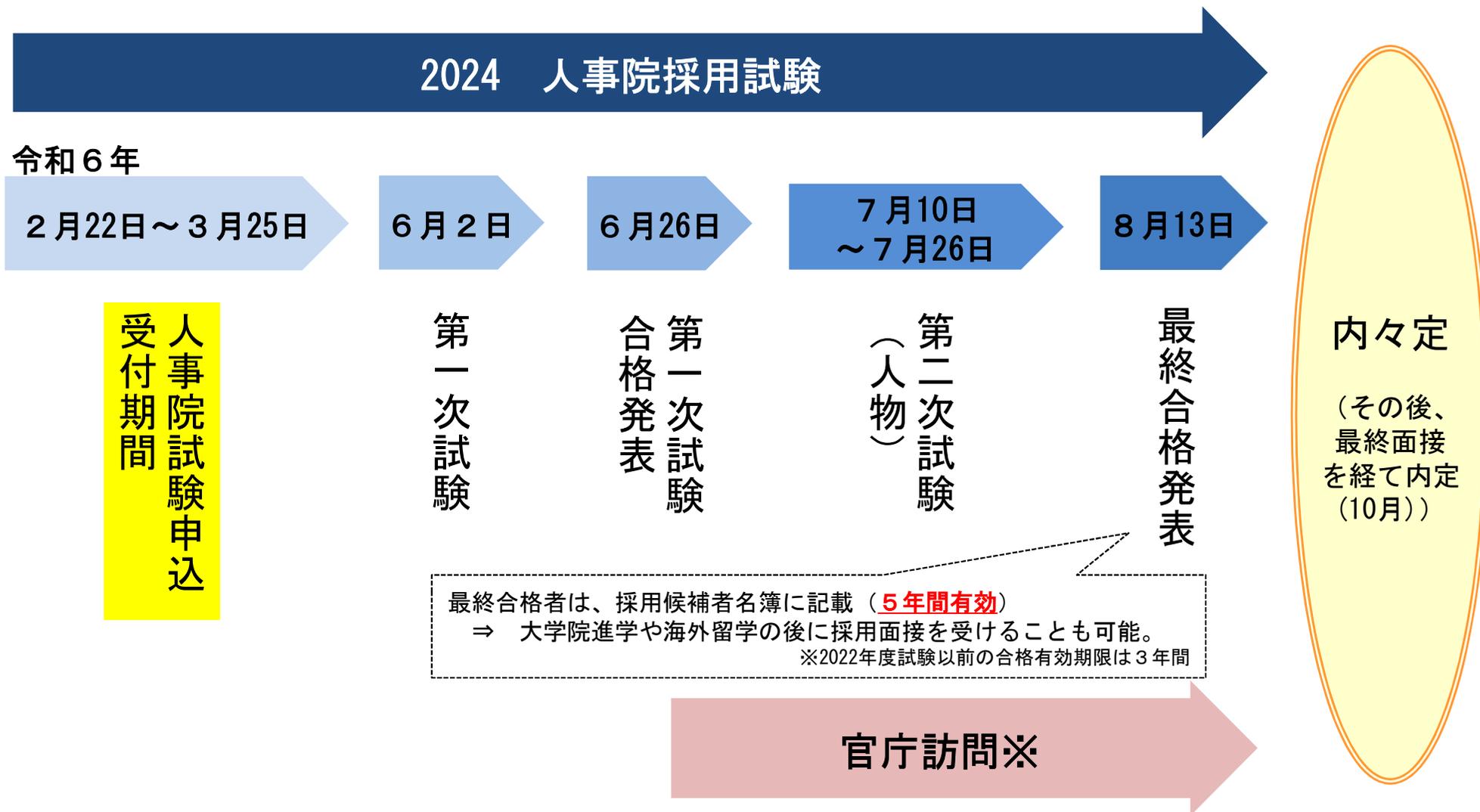


UAVを用いた高解像度地形図による地すべり地形解析

4. 採用プロセス

- 2024年度試験（一般職）採用スケジュール

採用プロセス(一般職) 大卒程度



※ 官庁訪問とは、地方農政局における採用面接です。
日程等は、各農政局のホームページで公表されます。

☆ 日程等は変更される場合がありますので、人事院、農林水産省及び各地方農政局のホームページにより、最新の情報を確認して下さい。

5. 研修・福利厚生とワークライフバランス

- 充実した技術研修制度による「スキルアップ」
- 初任給、勤務時間、休暇制度、住宅は・・・？
- 出産・育児休業は・・・？
- 若手職員からのメッセージ

充実した技術研修制度による「スキルアップ」

1人1人の受講履歴をとりまとめた「研修カルテ」を作成し、計画的に受講するシステム

◆多種多様な研修を用意し、係員、係長、課長等の各段階で、必要な時期に必要な研修を履行。

◆特に、若手技術系職員は、近畿農政局農業農村整備技術キャリアアップマップに基づき、一定の年齢までの必須研修をカリキュラム化して重点的に育成。

	1年目	2年目以降	
地方研修	基礎養成研修	ストックマネジメント技術	鋼橋・ゲート ポンプ・電気 施設管理
	初任技術(前期)		
	初任技術(後期)		パイプライン 用水計画
	初任技術(実践)	施工管理	土木地質
	初任(農業農村)		水利システム 河川協議
			等々
講習会	CAD技術	電子納品	電気概論
	工事監督基礎	災害応急用ポンプ	積算システム
			無線従事者養成 自家用電気工作物 保安教育 等々

入省1年目に受ける技術研修

1年目は基礎養成研修や初任技術研修にて、基礎知識を習得して頂きます。

- ・基礎養成研修(本省にて年2回): 農村振興に関する基礎知識や基礎学力の研修
- ・初任技術(前期): 農業農村整備事業の概要、調査・設計・積算・施工・管理業務に関する講義
- ・初任技術(後期): 農業農村事業及び一般に関する講義
- ・初任技術(実践): 設計・積算業務に関する講義・演習
- ・初任(農村派遣): 農家に滞在する等、農作業等の実習及び農業・農政等に対する意見交換
- ・技術講習会: CAD技術や工事監督基礎など必要に応じて受講可能



福利厚生について

Q. 初任給は？

※「国家公務員の給与（令和3年度版）内閣官房内閣人事局」より引用

A. 初任給代表例

一般職（大卒程度）採用者初任給	225,840円
一般職（高卒者）採用者初任給	187,920円

- 手当：基本給に加え、該当者には扶養手当・通勤手当
住居手当・超過勤務手当・地域手当も支給されます。
- 賞与：期末勤勉手当（ボーナス）が年2回支給されます。
- 昇級：年1回

Q. 勤務時間は？

- A. 平日 8:30～17:15（7時間45分）
 昼休み 12:00～13:00
休日 完全週休二日制

- 時差出勤やフレックス勤務の導入
（時差出勤の例 9:30～18:15）



Q. 休暇制度は？

- A. 休暇の取りやすい職場環境作りを進めており、
まとめて取ることも可能です。

- 年次休暇：年間15日（入省初年度）、2年目以降は20日
日数は最大20日まで翌年に繰越可能で、年間最大40日
の休暇の取得が可能になります。
- その他：年次休暇に加え、結婚休暇（5日）、夏季休暇（3日）、
病気休暇などが制度化されています。

Q. 住宅は？

- A. 独身用・世帯用宿舍が設置されています。

- 宿舍等施設
勤務地の住居として、宿舍が用意されています。新規採用者には入居の
希望を確認しています。
- 福利厚生施設
国家公務員共済組合制度により、全国に医療機関や宿泊・保護施設が
設置されており、利用することが出来ます。

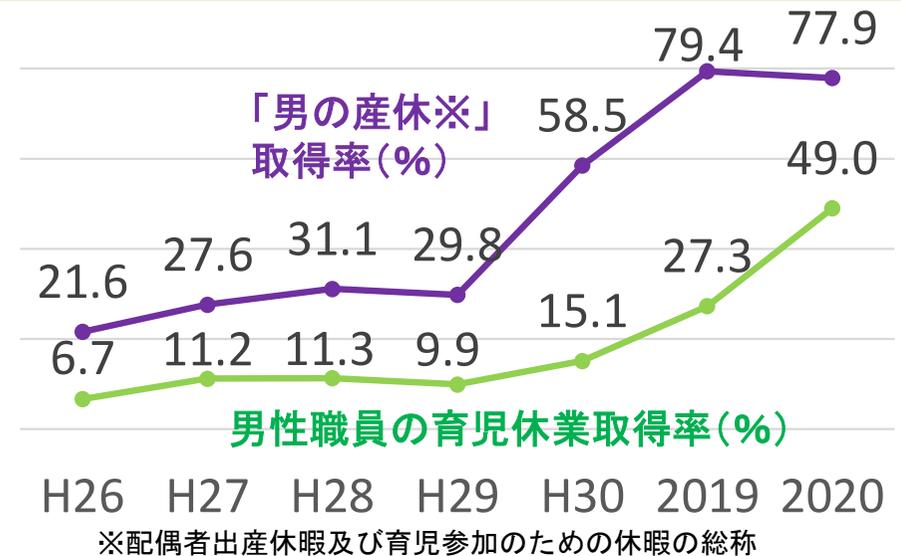


ワークライフバランスに関する取組

主な両立支援制度

産前休暇・産後休暇【女性】	出産の6週間前から出産後8週間までの休暇
配偶者出産休暇【男性】	妻の出産の付添い等のための休暇(2日)
育児参加のための休暇【男性】	妻の産前産後期間中に子を養育するための休暇(5日)
育児休業	一定期間の休業(子が3歳になるまで)
育児短時間勤務	短い勤務時間での勤務(子が未就学まで)
早出遅出勤務	1日の勤務時間数を保ったまま、早出や遅出可(勤務時間の変更)
子の看護休暇	年5日(子が未就学まで)

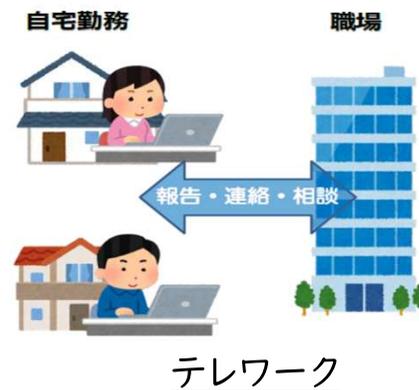
＜農林水産省＞
女性の育児休業取得率は100%
男性の育児休業取得率も増加



働き方改革

農林水産省では、全ての職員が能力を発揮しながら、生き生きとやりがいを持って働くことができる職場環境作りを推進しています。

- ✓ 業務の効率化・デジタル化の推進
- ✓ テレワークの推進
- ✓ 勤務時間管理の徹底
- ✓ 休暇の取得推進



農政局でも、リモートアクセスシステムが整備され、必要に応じてテレワークを実施。



児玉 健

H30採用 農村振興部水利整備課国営第1係

皆さんへのメッセージ

公務員試験の筆記試験では過去問を参考にひたすら公務員対策の勉強しておりました。

面接試験では、高校の先生方と高校の先輩方から”面接での対応が一番重要”と聞いていたので、自分自身・志望動機・公務員という職業について勉強し、面接での様々な質問に対して自分の思いを率直に伝えられるように、高校の先生方と何度も面接練習を行っておりました。

就活で皆様大変だと思いますが、自分のしたいこと、なりたいものを目指して頑張ってください。アットホームな職場ですので、近畿農政局に来た際、同じように感じてくださると嬉しいです。いつか一緒に働けることを楽しみにしています。

～本省と現場との懸け橋～

Q1 今担当している業務は？

私は現在、近畿地区のかんがい排水事業の予算要求・予算調整・予算管理と近畿農政局で発注する工事・業務の発注準備や審査、契約手続き等の業務を行っております。

また、本省から予算や工事・業務に関わる調査依頼が来ますので、その対応をしております。現場工事・業務の進捗や内容、課題などを本省に共有することで、本省と現場との懸け橋となる重要な業務だと思っておりますので、誇りをもって日々業務に励んでおります。

～営農形態の改善に携わりたい～

Q2 近畿農政局を志望した理由は？

近畿農政局を志望した理由は、営農形態の改善に携わりたいと思ったからです。私の祖父が田畑の営農をされており、水利形態や圃場の形について、苦労しながらも様々な工夫をして何とか営農をしておりました。その姿をみて、水利形態や区画整理等の整備をすることにより、営農形態が改善され、同じような不満を持っている方々のお力になれるのではないかと思います、志望いたしました。

～アットホームな職場環境～

Q3 職場環境について

私は高卒で採用になり、地元は近畿ではありませんが、周りの方々も近畿の方ばかりではなく、様々なご出身の方々も多くいます。そのため、出身地に関係なく優しく接していただけるアットホームな職場です。また、有給休暇は1時間単位で取得できるので、業務を調整すれば「私用のため夕方2時間お休みを取って早めに帰らせてもらう」ということも可能です。大型連休に合わせて有給休暇を取る方も多く、旅行や帰省など非常に取得しやすい環境です。それに加えて、育児休暇もとりやすく、女性はもちろんのこと男性もとりやすいので、将来のことを見据えたライフプランも立てやすい職場環境だと思います。





塚本 詩乃子

R2採用 淀川水系土地改良調査管理事務所保全整備課

皆さんへのメッセージ

就職は人生の中で1つの大きな決断になるので悩まれることも多いかと思います。私は、今の職場で良かったと感じていますが、中には働き始めてからイメージと違うと思われる方もいるかもしれません。ですので、多くの情報を集めて、たくさん悩んで、その上で自分にとっての最良の選択をしていただければと思います。悩んだ結果が近畿農政局であれば嬉しいです。

試験対策ですが、技術職の公務員試験では筆記対策は過去問をたくさん解くことをオススメします。面接は特別な対策が必要ということはありませんが、大学の就職支援センターの模擬面接などである程度場慣れしておくとも良いかもしれません。

いつか一緒に働けることを楽しみにしています。

～農家の方が安心して水を使えるようにする業務～

Q1 今担当している業務は？

私が所属している保全整備課では、主に国営施設機能保全事業（日野川地区）を進めています。業務内容としては、昭和～平成の時代に国営で造成され老朽化した農業水利施設（ダムの取水放流設備や揚水機場など）の整備や更新の工事を行い、農家の方が安心して水を使えるようにするというものです。

農業を行う上で欠かすことのできない水に関する業務なのでやりがいは大きいのですが、その分勉強することも多く周りの方に教えて頂きながら仕事を進めています。

～大きなことに挑戦できる仕事～

Q2 近畿農政局を志望した理由は？

大学時代を農業が身近な環境で過ごし、農業生産基盤の整備に興味を持ちました。その中で、近畿農政局の業務説明会や現地見学会などに参加し、地図に残るような大きなスケールの農業農村整備事業に携われるということに魅力を感じました。

～相談しやすい環境～

Q3 職場環境について

自分が所属している課は、大きな括りで言うと工事を進める課です。ですが、当然、工事を進める課だけで全ての仕事を行うことはできません。工事をするための事業を立ち上げる課、工事関係のお金を扱う課、など様々な課が連携して農業・農村の振興という一つの目標に向かって進みます。上司の方に相談しやすい職場環境ですので、困ったときは課も越えていろいろな角度からサポートをいただき、仕事に励んでいます。

また、公務員なので福利厚生はバッチリです。有給休暇はもちろん、育児休暇、特別休暇等も取得しやすい環境ですので、仕事とプライベートの両立ができる職場だと思います。



～経験・専門知識を活かせる現場～

Q1 今担当している業務は？

私は、現在、近畿農政局の出先機関の南近畿土地改良調査管理事務所に在籍しております。南近畿土地改良調査管理事務所では、国営施設の長寿命化・機能保全対策の検討、地域の農業基盤の整備のための計画立案・調査、また、国営施設の直轄管理を行っております。その中で私は、直轄管理事業の一環として、ダム・頭首工の利水管理・洪水管理・施設管理を行っております。

紀の川水系は日本全国でも有数の多雨地帯を流域に持つため、本地区のダム・頭首工の利水管理は、豊富な経験と知識が必要不可欠です。私自身、施設管理は初めてであり、業務の中で勉強させていただくことが多く、日々、やりがいを感じております。

～農業に必要な大規模インフラに携われる～

Q2 近畿農政局を志望した理由は？

元々公務員を志望していたということで、大学での業務説明会に参加した際、大学で学んだ知識が活かせるかつ、国営の予算規模で、大きな仕事がしたいと思い志望いたしました。

また、研修制度や勉強会が充実していることも魅力に感じたことも動機の一つです。

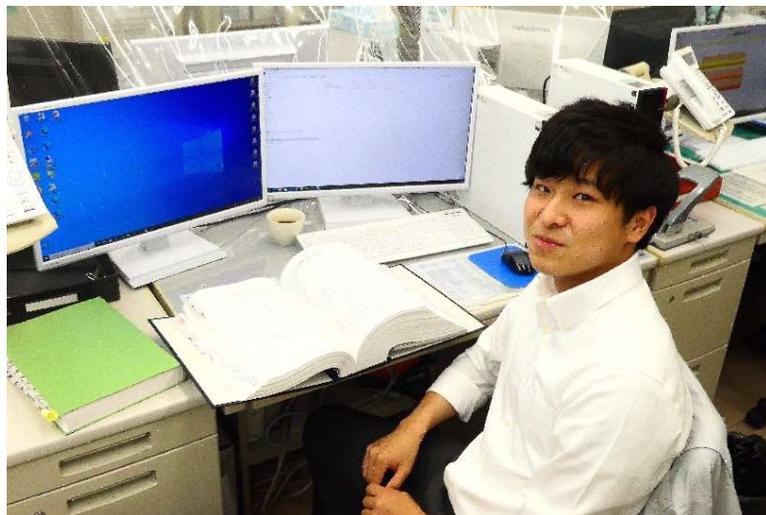
～分野にこだわらず活躍・成長できる職場～

Q3 職場環境について

近畿農政局では機械・電気・農業農村工学等々、様々な分野の採用区分からの採用実績があり、それぞれの分野の枠を飛び越えて活躍されている諸先輩方がたくさんおられます。

実際私自身、電気・機械には全く触れたことのない立場でしたが、現在のポストではダム等設備の更新工事の発注等を担当しており、業務の中で、専門知識を磨いております。

職場としても非常に上司に相談しやすい雰囲気ですので、それぞれの分野に詳しい上司に質問をしながら成長していける職場だと思います。



西谷 公佑

H31採用 南近畿土地改良調査管理事務所 管理課機械電気係

皆さんへのメッセージ

様々な業界のインターンシップや、説明会に参加して見て下さい。その業界の雰囲気というものが分かると思います。発注者側である公務員だけでなく、受注者側である建設コンサルタントや、建設会社への進路もあります。両者ともメリット・デメリットがありますので、その中で自身の働き方に合った進路を選択して下さい。

皆さまと働ける日を楽しみにしております。





土持 花純

R3採用 和歌山平野農地防災事業所 調査設計課

皆さんへのメッセージ

試験対策は、過去問を繰り返し解くことで、苦手な分野を克服していきました。

また、面接対策としては、難しい質問に対しても臨機応変に受け答えができるよう、高校の先生と毎日面接練習を行いました。

試験勉強は大変に思うこともありましたが、周り方のサポートのおかげで無事合格することができたと思っています。

もし、試験勉強でつらいことがあれば周りの方に相談してみてください。

皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

～分かることが増えていく喜びを日々実感～

Q1 今担当している業務は？

私は、現在、近畿農政局和歌山平野農地防災事業所の調査設計課に所属しています。和歌山平野農地防災事業では、大雨時における農地周辺の湛水が軽減されるよう、機能の低下した排水路や排水機場などの排水施設を整備しています。

その中で私は主に、工事箇所における文化財保護や環境配慮に関する関係機関との協議・調整、排水管理のための水位・流量などの基礎データの管理、事業の広報に関する業務などを行っています。

専門的な知識が求められる場面も多く、大変に感じる部分もありますが、業務を通じて分かることが増えていく喜びを日々実感しています。

～農業を支えることで人々の食を守る～

Q2 近畿農政局を志望した理由は？

高校で農業土木について学び、将来は農業を支えることで人々の食を守りたいと考えたことが公務員を目指した理由です。

県や市への就職も考えましたが、高校で近畿農政局の業務説明を受け、大規模な農地を支えている国の仕事に携わりたいと考え、近畿農政局を志望しました。



～風通しが良く、休暇の取りやすい職場環境～

Q3 職場環境について

業務で分からないことがあっても、上司、先輩、同僚が丁寧に教えてくれるため、些細なことでも周囲に相談しやすく、風通しの良い職場環境です。

また、事業所では月1回の休暇取得が推奨されており、休暇を取得しやすい雰囲気醸成されています。実際に私も、リフレッシュのため、月に1回休暇を取得しています。

加えて、毎年8月には管内事業所対抗の野球大会があり、週に1度、所長を含めた事業所職員が集まって練習に励んでいます。普段の業務では関わりの少ない方とも様々な話できる貴重な機会、コミュニケーションを深められる有意義な時間になっています。





津倉 堯志

R4採用 農村振興部農村環境課環境調査係

皆さんへのメッセージ

公務員試験の対策としてはまず、過去の出題例をしっかりと理解することです。特に専門範囲はこれまであまり触れてこなかった分野も出題されるでしょうから、そういった問題も自分の言葉で解説できるように整理しておく必要があります。

教養範囲はそこまで複雑な問題は出ないので、基礎的な読解能力や計算能力、数年前の時事問題への政府の対応などを大まかに押さえておく程度で問題ありませんが、それは点数差が付きにくいということなのでケアレスミスがないように慎重に解答しましょう。

～農村が形成する自然環境を保全する～

Q1 今担当している業務は？

現在は、農村環境課という部署に配属されています。担当業務として、農業活動に伴い形成される二次的自然環境の保全調査等を行っています。「二次的自然」とは水田環境や雑木林など、人が手を加えることで形成されてきた自然のことで、周期的に管理されるため、植生遷移の途中で維持されることとなります。こういった環境では特有の動植物が定着することになり、もし農業活動が放棄されてしまうと、生物多様性が失われることとなります。

今後我が国の人口が減少していく中で、そのような二次的自然環境における生物多様性をどのように保全していくか、その足掛かりとなる調査業務に携わっています。

～農業を通して社会に広く働きかけることができる～

Q2 近畿農政局を志望した理由は？

自分の実家は高槻という大阪市のベッドタウンにあり、実家の前には水田が広がっていました。しかし、農業者の高齢化や離農に伴い、耕作放棄地が増えていく現状を見て、日本の農業に自分ができることはないかと考え始めました。その結果、社会に広く働きかけることができる農政局という選択肢を意識するようになりました。

また、自身が大学で農学を専攻していたこともあり、農業にかかわる業務を行うことができる農政局を志望しました。

～自分らしさを出しやすい職場～

Q3 職場環境について

入省するまで自分が想像していた「お役所仕事」とは異なり、かなりの業務が電子化されており、新規採用されたばかりでも受講できる、データサイエンス分野での研修も行われていました。

また、農村振興という部局の性質上、調査や聞き取りなど、現地での業務が多く、自然環境に触れる機会が多々あります。外に出て作業することがお好きな方にはお勧めの職場です。





松本 栄伸

R3採用 農村振興部農村計画課農業振興地域係

皆さんへのメッセージ

就活中は時間に追われ、焦りや不安を感じる人が多いと思います。一方、不安定な状態での判断は、想像とのミスマッチを引き起こす可能性が高いです。大事な判断の時こそ、一度立ち止まって、自分が求めているものを見つめ直してみてください。

また、周囲の人と話して、今こだわっている部分が本当に必要かどうかなど、思い込みを取り除くことも肝要かと思います。

その中で、近畿農政局を選んでいただければ幸いです。皆さまと働ける日を楽しみにしております。

～制度を理解し調整を行う～

Q1 今担当している業務は？

現在は農業振興地域係で、主に、農業振興地域制度を中心として制度に係る調査の依頼・取りまとめや、都市計画と農林漁業との土地利用調整における管内府県担当者との事前調整などの業務を行っています。

特に、農林水産本省と全国の自治体との間で調査や依頼の橋渡し役となることが多いため、調査の意図をよく理解し、スケジュール感をもって円滑な調整を行うことが求められます。

様々な制度についての理解も求められ大変な部分もありますが、業務の中で、「何故この調査や協議は必要か」という根本の部分から学べるため、種々の業務に必要な考え方のものを身に着けることが出来る業務だと感じています。

～大学で学んだことを活かす～

Q2 近畿農政局を志望した理由は？

大学時代に初めて農学に触れ、日本農業の現状について学ぶ中で何か自分も役立てることはないかと思う中、地元である近畿において、自身の専攻と関係する調査計画区分の採用があることを知り近畿農政局を志望しました。

～生活リズムにあった働き方～

Q3 職場環境について

わからない事については上司の方や担当課の方に伺うことが多いですが、丁寧に教えてくださるので、とてもありがたいと感じています。フレックスタイム制もあり、自身の生活リズムにあった働き方が出来ていると感じています。

また、年次休暇を取りやすく、自分の時間を確保しやすい環境だと思います。



お問い合わせ窓口

- 農業土木系と調査計画系の担当窓口は次のとおりです。
ご質問、ご要望などあれば、遠慮なく連絡下さい。

区分	担当者	メールアドレス	電話番号 (直通)
農業土木	近畿農政局 農村振興部 設計課 二神 健次郎 川村 耕平	kenjiro_futagami620@maff.go.jp kohei_kawamura970@maff.go.jp	075-414-9513
調査計画	近畿農政局 農村振興部 農村環境課 杉山 正広	masahiro_sugiyama230@maff.go.jp	075-414-9052

近畿農政局採用情報はホームページをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/kinki/soumu/jinji/index.html>

農業農村工学プロモーションツール

<https://jagree-ikusei.jp/>

「農業農村工学の世界」CONCEPT MOVIE

